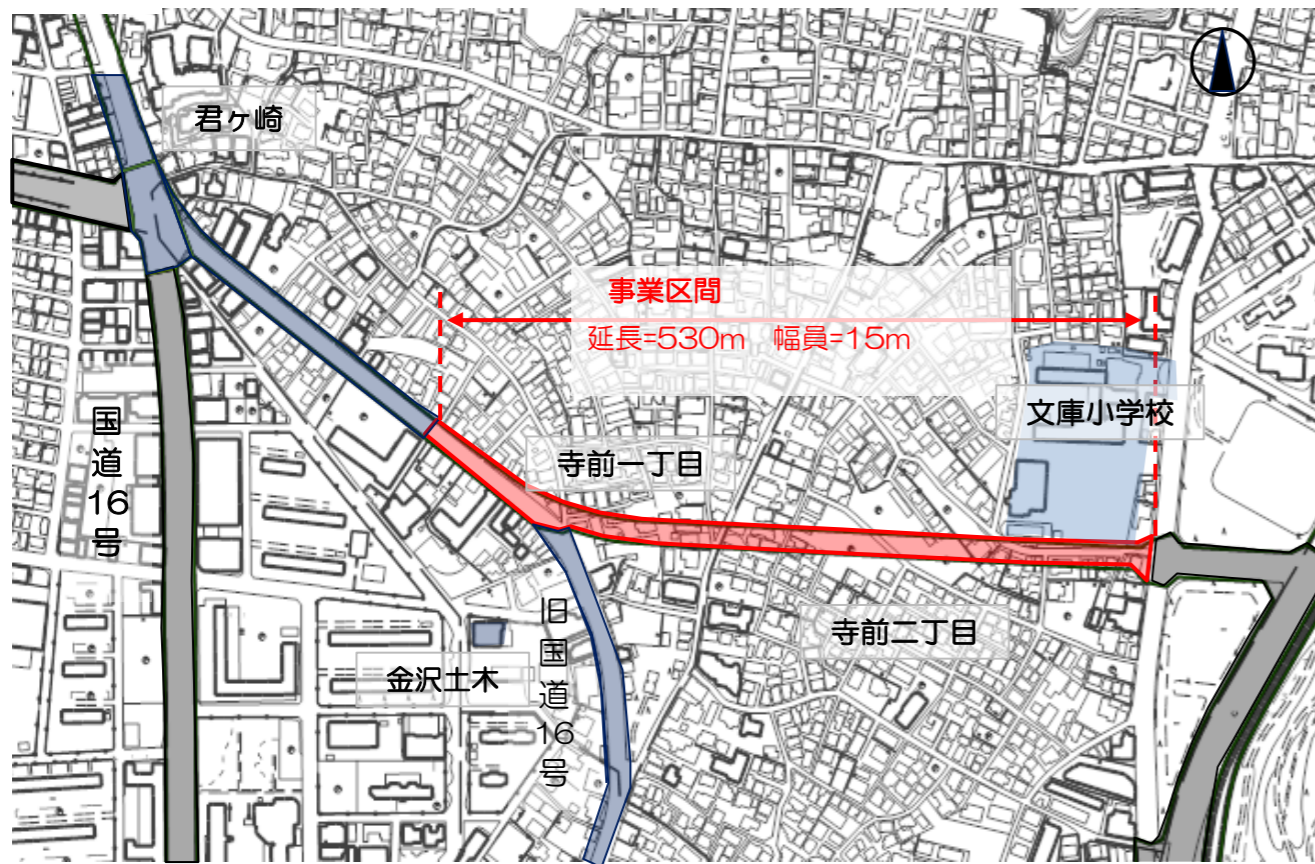


泥亀釜利谷線（寺前地区）の事業化について

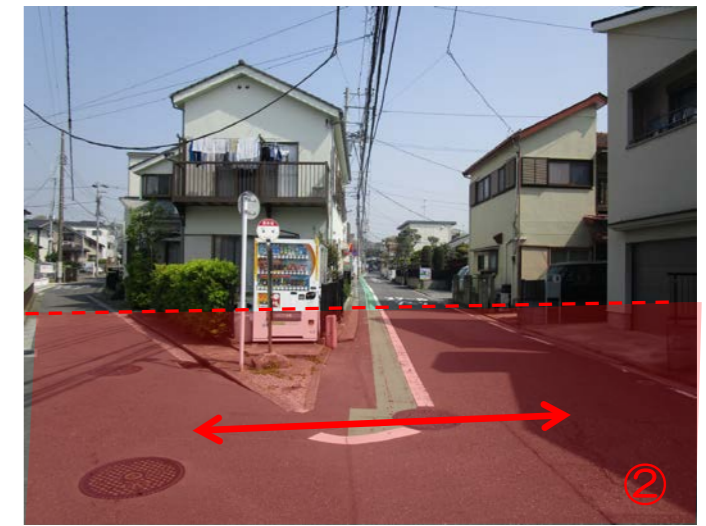
1. 概要

- 泥亀釜利谷線を整備することにより、国道16号と金沢臨海部とのアクセスが向上するため、生活道路への通過交通の流入が減少し、また、歩道が設置されることにより、文庫小学校への通学路の安全環境が格段に改善します。
- また、泥亀釜利谷線は、「横浜市地震防災戦略における地震火災対策方針（平成26年3月）」で都市計画道路の整備による延焼遮断帯の形成が謳われ、「地震火災対策重点路線」として位置付けられました。
- そこで、延焼遮断帯としての効果を早期に発現できるように、文庫小学校脇交差点から現在バス路線となっている旧国道16号までを結ぶ延長530mを事業化し、地元説明等を行っていきます。

位置図



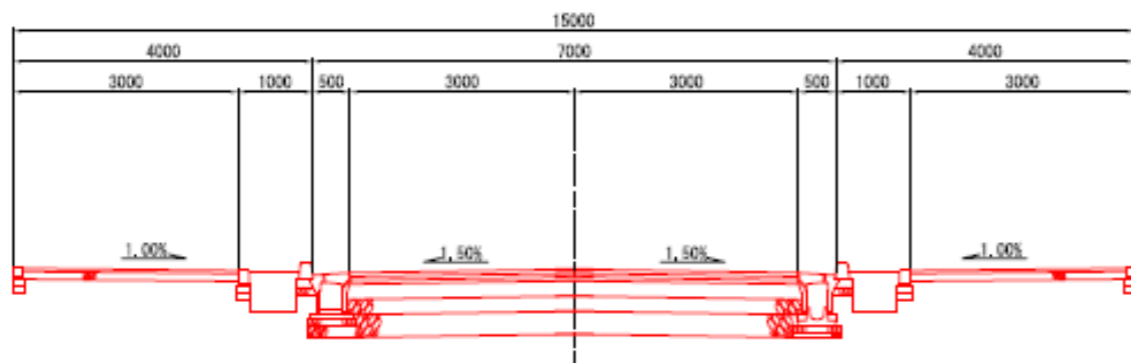
3. 現況写真



■は都市計画道路のイメージです。都市計画決定線については、縮尺2500分の1のから転写したものであり、事業実施の際の詳細測量により、差異が生じることがあります。

2. 標準横断面図

現在幅員構成については検討中



4. 今後の進め方

	30年度		31年度		32年度～	
地元対応	測量説明会 (6月～7月) ★	設計・用地補償説明会 (12月) ★				
測量・調査	調査	測量				
道路設計・関係機関協議	道路設計・関係機関協議					
用地取得協議			用地取得協議			
工事					工事説明会 ★	工事施工